起動パラメーターファイル(*.xdnp)の作成

このファイルを直接ダブルクリックすると、起動直後、指定されたファイルの読み込みやクライアント起動時に 表示されるサーバーへの接続ダイアログを省略する等パラメーターの指定内容に応じて動作します。 利用者は、各ファイルの所在を意識せず、必要な情報を読み込むことができます。売上確認用、在庫確認用など 目的別に作成しておくと便利です。

クライアントツールまたは管理ツールのファイルメニューから、「パラメーターファイル…」を選択し、[パラメーターファイル設定]ダイアログを呼び出し、XDNP ファイルを作成します。



起動パラメーターファイル作成の許可

クライアントサーバー版をご利用の場合は、前述の[パラメーターファイル設定]ダイアログを呼び出す メニューがグレーアウトになっています。これを有効にするため、管理ツールのセキュリティ設定で この機能の使用を許可する設定を事前に行う必要があります。

😢 管理者: DataNature Smart			
ファイル セキュリテ	ィ設定 ジョブ設定	スケジュール運用設定	実行 編集 表示 ツール ヘルプ
検索 検索文字列を入力			
□ DataNatureの管理 □□□□ セキュリティ設定	ューザーのプロパテ	1	8 ×
ローローン コーザー 	ユーザー名:	admin	📄 無効にする
	フルネーム:	DataNatureの管理者	対象のユーザーのプロパティを開き、
🧟 tanto3 🧟 user	אַכאָב:		「ロパラメーターファイル作成機能を
	1885年1月21日下,1月11日前,		有効にする」にチェックを入れ、OK つ 問じます
user3	「1歳自己ハベン市川町中		
user6		📝 DataNature Smart フォルダ	ダーへのアップロー かにする
user7	▼ パラメーターファイル作成機能を有効にする		
userb			OK キャンセル
usere	作成日:2011/02/11	1 00:00:00 更新日:2014/1	0/07 17:25:27
	<u> </u>		

他システムのメニューから起動する

下記のようにクライアントツールの実行形式ファイルと半角スペース一つ、XDNP ファイルのフルパスを引数として 設定し、他のシステムのメニューから起動させることも可能です。

"C:\Program Files\DataNature Smart v4\Client\XDANAE.exe" \\Program Files\DataNature Smart v4\Client\XDANAE.exe" \Program Files\DataNature Smart v4\Client\XDANAE.exe" \Program Files\Program Files\Pr